

主要 7 項目

7つの目標を「主要項目」として予算を効果的に分類しました。項目ごとに主な事業の一部を紹介します。



平成21年度 — まちの予算と仕事 —

地域経済の活性化と 更なる発展を目指して！

世界的な金融の激変により、国経済が景気後退する中、香南市は国から地域活性化対策として約4億6千万円を配分されました。この対策費を活かしながら平成21年度はどのように舵を取っていくのか？

第18回香南市議会定例会の内容から、目指すべきまちづくりとその取り組みをご紹介します。
問い合わせ：財政課 (☎ 57-8502)

市長が示す

4年目の市政

依然として厳しい状況

香南市が誕生して3年が経過しました。この間、合併後の調整項目として残された事業や、新市として新たな事業を中期財政計画にまとめ、厳しい財政状況を見極めながら積極的に取り組んでまいりました。

こうした中、昨年アメリカから発した世界同時不況は、金融危機を招き、日本の景気は後退の局面に入っています。香南市においても、この影響による対前年度の市税収入は、約1億1千万円、地方税と税収入が約3千万円の減収が見込まれ、依然として厳しい状況は変わりません。

市民の生活と 経済を守るため

一般会計における平成21年度当初予算を前年度と比較すると7・6%の減額となりま

したが、地域経済の活性化と更なる発展を目指しつつ、地域再生に向けた予算編成に取り組んでまいりました。

歳出を抑えるため、職員定数削減による人件費削減や市単独の事業費抑制を図る一方、市民の生活と経済を守るための施策を「振興計画」にある7項目の基本目標に沿って編成しています。

安心安全なまちづくり

平成20年度3月補正予算で国から約4億6千万円が地域活性化対策として交付されました。

この交付金は、平成21年度中に執行することが条件で、当初、中期財政計画で平成21年度以降に予定していた事業の一部を前倒しして着手します。道路・漁港・農業用施設などの基盤整備事業や、消防施設や学校施設等の耐震改修事業など94件、事業費は約8億

円となっており、安心安全なまちづくりを重点的に実施できる予算編成になっています。

みんなが幸せを 実感できるまちに

今年度は、雇用対策や防災体制の整備強化、環境基盤整備など、まちとして必要な取り組みを反映させた予算編成となりました。

この予算を効果的に執行するためには、市民一人ひとりの力が必要です。厳しい時代だからこそ一丸となって「元気で豊かに光るまち」を目指していかねばなりません。そのために市としても、全力で市政運営に取り組み、住民自治組織の強化を積極的に進めてまいります。市民の皆さんのご理解とご協力をお願い申し上げます。

香南市長 仙頭義寛

